

ぼくの机

岩手県 北上市立黒沢尻西小学校 五年 菅野^{かんの} 柊泉^{とうい}

ぼくの机は、いとこのカズ君が使っていた物で、ヒマさえあればママがすわっている。おばあちゃんが

「柊泉じゃなくてママが勉強しているじゃん」
って言う位よくすわってる。

のぞいて見ると

学校からのプリント。

連絡帳。

宿題のチェック。

そして、スマホで韓国ドラマ。

やっぱりね…。

ぼくが少し長い時間勉強をしていると

「まだ勉強してるの？もういいんじゃない？私が柊泉と同じ位の時は、そんなに勉強しなかったよ！同じ場所で同じ机なのに…がんばるね。」とママ。

実は、この机、おじいちゃんとおばあちゃんがママのために買った机だと知りました。

だからなつかしくて、すわっているのか。

少しおどろいて、

少し不思議で、

ちよつとうれしくて、

もっと勉強してやる！って言う気持ちになった。

ぼくが大人になったら、この机の思い出を、たくさん話そうよ。